



平成 18 年 9 月 27 日

各 位

会 社 名 青木あすなる建設株式会社
代 表 者 名 代表取締役社長 市木良次
(コード番号 1865 東証第一部)
問 合 せ 先 取締役管理本部長 小池正晴
(T E L 03 - 5419 - 1012)

当社の親会社 高松建設株式会社
代 表 者 名 代表取締役社長 石田 優
(コード番号 1762 東証・大証第一部)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成 19 年 3 月期業績予想を下記のとおり修正いたします。

記

1. 平成 19 年 3 月期中間業績予想数値の修正 (平成 18 年 4 月 1 日 ~ 平成 18 年 9 月 30 日)

(1) 連結業績 (前回公表 : 平成 18 年 6 月 9 日)

(単位 : 百万円)

	売上高	経常利益	中間純利益
前 回 発 表 予 想 (A)	55,000	700	600
今 回 修 正 予 想 (B)	56,000	900	1,400
増 減 額 (B - A)	1,000	200	800
増 減 率	1.8%	28.6%	133.3%

(2) 個別業績 (前回公表 : 平成 18 年 5 月 10 日)

(単位 : 百万円)

	売上高	経常利益	中間純利益
前 回 発 表 予 想 (A)	40,000	1,000	900
今 回 修 正 予 想 (B)	40,000	1,400	1,000
増 減 額 (B - A)	-	400	100
増 減 率	-	40.0%	11.1%

2. 平成 19 年 3 月期業績予想数値（平成 18 年 4 月 1 日～平成 19 年 3 月 31 日）

連結業績、個別業績ともに現在見直し中ではありますが、開示要件に該当することとなった場合には速やかにお知らせいたします。

3. 修正の主な理由

（1）連結業績

当中間期は、手持工事が順調に進捗したこと及び一部の工事利益が改善されたこと等により、売上高及び経常利益が当初計画を上回る見込みとなりました。

さらに当初計画では想定していなかった貸倒引当金戻入額等が計上されることとなり、中間純利益につきましても当初計画を上回る見込みとなりました。

（2）個別業績

当中間期は、一部の工事利益が改善されたこと及び経費削減に努めたこと等により、経常利益が当初計画を上回る見込みとなりました。

また、当初計画では想定していなかった貸倒引当金戻入額等が計上されることとなり、一方で業績不振の連結子会社の株式評価損等を計上することとしましたが、中間純利益につきましても当初計画を上回る見込みとなりました。

以上